

I 生涯教育事業

* 定期公開講座

* 自主講座

* 小中学生講座

* 語学講座

* 開放授業

* ひらめき☆ときめきサイエンス

* 公民館講座

平成 29(2017)年度 定期公開講座カリキュラム

宮崎公立大学 定期公開講座

*全体テーマ コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～

講義	日 時	講 座 演 題	講 師
第 1 回	9月 22日(金) 18:30~20:00	開講あいさつ	川瀬 地域研究センター長
		地元への愛着を育てる ～社会心理学からのアプローチ～	宮崎公立大学 川瀬 隆千 教授
第 2 回	9月 29日(金) 18:30~20:00	“自分ごと”として考えるデザイン ～ひろがりと可能性～	宮崎公立大学 井田 志乃 助教
第 3 回	10月 6日(金) 18:30~20:00	人に優しいコミュニケーション ～「ケアの倫理」が私たちをつなぐ～	宮崎公立大学 四方 由美 教授
第 4 回	10月 13日(金) 18:30~20:00	人との関わりの中で生まれる知性 ～学習論再考～	宮崎公立大学 野崎 秀正 准教授
第 5 回	10月 20日(金) 18:30~20:00	誰もが発信者になれる！ 地域と共に創るローカルメディア	サンワード・ラボ株式会社 代表取締役／ 宮崎てげてげ通信 会長 長友 まさ美 氏
		閉講あいさつ	川瀬 地域研究センター長

講座名	宮崎公立大学 定期公開講座 「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」	
実施期間・回数	平成 29 年 9 月 22 日（金）～平成 29 年 10 月 20 日（金） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分	全 5 回
会 場	宮崎公立大学 研究講義棟 103 大講義室	
回	講 師	タ イ ド ル
1	宮崎公立大学 川瀬 隆千 教授	地元への愛着を育てる～社会心理学からのアプローチ～
2	宮崎公立大学 井田 志乃 助教	“自分ごと”として考えるデザイン～ひろがりと可能性～
3	宮崎公立大学 四方 由美 教授	人に優しいコミュニケーション～「ケアの倫理」が私たちをつなぐ～
4	宮崎公立大学 野崎 秀正 准教授	人との関わりの中で生まれる知性～学習論再考～
5	サンワード・ラボ株式会社 代表取締役/ 宮崎でてげ通信 会長 長友 まさ美 氏	誰もが発信者になれる！地域と共に創るローカルメディア
受講者負担	受講料無料	
配布資料等	受講のしおり 各講座資料	
募集定員	200 名	
(応募要件)	高校生以上	
参加者数	受講申込者：127 名 延べ受講者数：401 名 (うちアンケート回収 350 名：男性 157 名 女性 185 名 無記入 8 名)	
【講座風景】		
		
* 第 1 回講座 地元への愛着を育てる～社会心理学からのアプローチ～		* 第 4 回講座 人との関わりの中で生まれる知性～学習論再考～
【受講者アンケートから抜粋】		
<ul style="list-style-type: none"> ・とても分かりやすい話で良かったです。できるだけたくさん的人が地域への愛着を高めるためにはどうすればいいのか考えなければならないと思いました。 ・想像以上に興味をもった。似た講座があれば聞いてみたいと思った。 ・丁寧な資料、口頭で追加情報を説明してくださり、とても理解しやすく、あっという間の講義でした。有意義な時間でした。 ・大変興味のある講座でした。もうすこし時間ががあればよかったです。 ・身近な問題だったので、分かりやすかった。 		

宮崎公立大学 定期公開講座（第1回講座 / 全5回）
「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」

実施日時	平成29年9月22日（金曜日）午後6時30分～午後8時00分
会場・時間	宮崎公立大学 研究講義棟103 大講義室
受講者負担	なし（受講料無料）
応募要件	高校生以上
配布資料	受講のしおり、講座資料

演題	担当講師
地元への愛着を育てる～社会心理学からのアプローチ～	宮崎公立大学 川瀬 隆千 教授

講義の概要	社会心理学的な観点から、「地元地域への愛着がどのように作られるのか、そして、それは地域の問題解決にどのようにつながるのか」について考えてみます。地域づくりや地域の問題解決に積極的に貢献しようとする人は地域に愛着を持っていることが分かっています。地域への愛着は地域への協力行動を引き起こし、地域の問題解決を促進する強力な要因です。 従来、地域への愛着を規定する要因として個人属性が検討されてきましたが、ここでは人々の地域への評価に焦点を当てます。自然環境・景観や施設設備などの整備・充実といった地域の物理的環境への評価と、地域の治安や人間関係など地域の社会的環境への評価が地域への愛着とどのように関連するのか検討し、地域への愛着が作られるプロセスを示したいと思います。 その上で、地元地域への愛着を育てる具体的な取り組みを紹介したいと思います。
受講者数	受講者数：72名 (うちアンケート回収64名：男性35名 女性28名 無記入1名)

【講座風景】＊講座担当の川瀬隆千教授



【受講感想：アンケートから抜粋】

- ・なかなか興味深かったです。地域への愛着をもっと考えて行動したいと思います。
- ・地域における愛着を社会心理学的に分析していただき有意義な講義でした。
- ・地域の事について知って、そこから愛着を育てるということはとてもすばらしいと思った。愛着を高める事を考えることも興味深いと思う。
- ・自治会活動をしている立場から大いに参考になった。
- ・常識的には知ってはいます。それを理論的に組み立てて教えられた感じでとても勉強になりました。

宮崎公立大学 定期公開講座 （第2回講座 / 全5回） 「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」		
実 施 日 時	平成 29 年 9 月 29 日（金曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分	
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟 103 大講義室	
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）	
応 募 要 件	高校生以上	
配 布 資 料	受講のしおり、講座資料	
演	題	担 当 講 師
”自分ごと”として考えるデザイン～ひろがりと可能性～		宮崎公立大学 井田 志乃 助教
講 義 の 概 要	デザインの範疇は、モノの意匠だけに限らず、体験や活動といったコトのデザインまで多岐にわたります。また、2000 年代からは、デザイン的な思考方法を領域を超えて活用しようという動きも活発になってきました。 そうした流れの中で、「ソーシャルデザイン」の概念も広がっています。「ソーシャルデザイン」とは、人々が持つ創造力によって複雑な社会課題を解決しようとする活動です。本講座では、日本における「ソーシャルデザイン」の広がり、及び、地域とデザインの関わりや具体的な事例に加えて、宮崎公立大学での学生の取り組みについても触れます。デザインは特別な専門家だけが考えることではないことを知っていただき、自分自身がデザインの発信者及び受信者として社会とどのように関わっていけるかを考えるひとつの機会にしていただければ幸甚です。	
受 講 者 数	受 講 者 数 : 73 名 (うちアンケート回収 61 名 : 男性 32 名 女性 28 名 無記入 1 名)	
<p>【講座風景】 *講座担当の井田志乃助教</p>  		
<p>【受講感想: アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインについて知ることが出来良い体験でした。大学での学習が楽しみになりました。 ・デザインのことを全く知らなかつたので驚いています。とても興味をひかれました。 ・参考になりました。デザインを地区の活性化に活用しようと思ひます。 ・社会をより良くするためのデザインの例を色々と見させて頂いて、とても参考になりました。ありがとうございました。 ・想像以上に興味をもった。似た講座があれば聞いてみたいと思った。 		

宮崎公立大学 定期公開講座（第3回講座／全5回） 「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」	
実施日時	平成29年10月6日（金曜日）午後6時30分～午後8時00分
会場・時間	宮崎公立大学 研究講義棟103大講義室
受講者負担	なし（受講料無料）
応募要件	高校生以上
配布資料	受講のしおり
演題	担当講師
人に優しいコミュニケーション ～「ケアの倫理」が私たちをつなぐ～	宮崎公立大学 四方由美 教授
講義の概要	<p>「ケアの倫理」(C.ギリガン)とは、身近な人間への心配りと相互依存を前提とした人間関係の維持に価値を置く倫理観です。日本では、パートナーシップ、育児、介護といった生活世界の道徳的義務を論じるものとして説明されてきましたが、グローバルな研究視点に立つと、そのような限定的なものではありません。「自由」「正義」「中立公正」といったこれまでの原則だけでは対応できない現代社会の課題を乗り越え、社会を再生させる概念として、近年着目されています。</p> <p>この講座では、「ケアの倫理」を用いてマス・メディアやコミュニケーションをとらえ直し、「人に優しいコミュニケーション」について考えます。当事者の立場に立ったコミュニケーション（情報の発信・受信）は、私たちの社会生活や地域社会のつながり、国際問題を考える手がかりになります。</p>
受講者数	受講者数：84名 (うちアンケート回収83名：男性32名 女性50名 無記入1名)
<p>【講座風景】＊講座担当の四方由美教授</p> 	
<p>【受講感想：アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加したが、いろいろためになり考えさせられる問題も多々あり良かった。また来たいと思った。 ・ケアの倫理がどのようなものであるかわかりました。様々な視点から考えることが大切だと感じました。 ・普段では絶対に見ることのない映像やテーマについての講座では学ぶことや考えさせられることが多く良い経験が出来ました。 ・「ケアの倫理」という言葉を初めて知りました。これからのマスコミ報道に接するときの視点に役立てていきたいと思いました。ありがとうございました。 ・これまでメディアにおいてあまりフォーカスされてこなかった話題について触れることが出来、とても興味深かったです。 	

宮崎公立大学 定期公開講座 （第4回講座 / 全5回） 「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」	
実 施 日 時	平成 29 年 10 月 13 日（金曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟 103 大講義室
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）
応 募 要 件	高校生以上
配 布 資 料	受講のしおり、講座資料
演 題	
人との関わりの中で生まれる知性～学習論再考～	
担当 講 師	
宮崎公立大学 野崎 秀正 准教授	
講 義 の 概 要	I T 技術の急速な発達に伴う情報化社会の進展により、私たちは必要に応じて知りたい情報をいつでもどこでも手軽に入手することができるようになった。こうした社会の変化は、これまでの人々の「学び」のあり方に大きな改革をもたらす。例えば、最近、学習者の問題の間違い方を人工知能（Artificial Intelligence; AI）が分析し、その結果から学習者に最も適切なレベルの学習を提供するといった、いわば教師にとって最も困難であった「発達の最近接領域」の判別を自動的に行う学習材が登場している。こうした技術革新は、これまでの「教師が持っている知識の注入とその再現」を「学び」とするような、多くの学校で現在も行われている学習構造の終焉を導き、現在私達が一般的に認識しているような学校及び教師が担う役割を大きく変えることだろう。本講座では、近年、急速に広がりつつある新しい学習理論の最前線を、これまでの学習理論の歴史的変遷に位置づけながら紹介する。特に、社会との相互作用のありかたから「知性」や「学力」を考える社会的構成主義または状況主義といった立場の学習理論の紹介と、こうした考え方方が今後、学校教育や社会教育のあり方にどのような変革をもたらすかについて考えていく。
受 講 者 数	受 講 者 数 : 75 名 (うちアンケート回収 60 名 : 男性 27 名 女性 29 名 無記入 4 名)
【講座風景】 * 講座担当の野崎秀正准教授	
 	
【受講感想: アンケートから抜粋】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学びの新しい形を知ることが出来てよかったです。ありがとうございました。職場の会議等でも生かせたらと思います。 ・学びというテーマについて、掘り下げた内容を学べて良かった。 ・大変興味のある講座でした。もうすこし時間があればよかったです。 ・丁寧な資料、口頭で追加情報を説明してくださり、とても理解しやすく、あつという間の講義でした。 	

宮崎公立大学 定期公開講座 （第5回講座 / 全5回） 「コミュニケーションの新しいカタチ～地元・きずな・協働～」	
実 施 日 時	平成 29 年 10 月 20 日（金曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟 103 大講義室
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）
応 募 要 件	高校生以上
配 布 資 料	受講のしおり、講座資料
演 題	担 当 講 師
誰もが発信者になれる！地域と共に創るローカルメディア	サンワード・ラボ株式会社 代表取締役 宮崎てげてげ通信 会長 長友 まさ美 氏
講 義 の 概 要	宮崎に住んでいるからこそ知っている魅力を発信し、豊かに生きる人を増やす「宮崎てげてげ通信」（テゲツー！）は、月間 12 万人の読者を誇るローカル WEB メディアです。全員が本業を持ちながら活動し続け早 4 年。数々のメディアにも取り上げられ、テゲツー！が移住の決めてになったという方もいます。 テゲツー！を立ち上げた長友まさ美から、発信するときに大事にしていることや共創をうみだすポイント、テゲツー！の目指す姿をお伝えします。また、みなさんと一緒にローカルメディアの可能性を考えたいと思います。
受 講 者 数	受 講 者 数 : 97 名 (うちアンケート回収 82 名 : 男性 31 名 女性 50 名 無記入 1 名)
【講座風景】 * 講座担当の長友まさ美氏 宮崎に帰ることを決めました。」	 
【受講感想: アンケートから抜粋】	<ul style="list-style-type: none"> 最初は緊張しましたが、コミュニケーションができる楽しかったです。”情報発信”まだ何があるか分かりませんが何か見つかったらやってみたいです。 とても面白かったです。今後、自分自身が発信するにあたり、役に立つ情報がたくさんあった。 宮崎を活性化させるための取り組み、またその役割を果たすメディアの役割の大きさについて、考えることが出来ました。 ワークショップ形式を取り入れた内容が新鮮、かつ面白かったです。 元気のよい講座でした。参加者同士の活動も面白かったです。

定期公開講座チラシ（1）

宮崎公立大学 平成29年度 定期公開講座

コミュニケーションの新しいカタチ ～地元・きずな・協働～

本講座は、生涯学習の振興及び文化の向上に貢献することを目的として実施しており、今年度は「メディア・コミュニケーション」の教員を中心に、外部講師1名（サンワード・ラボ株式会社 代表取締役 長友まさ美氏）を交えての実施となります。
ぜひこの機会に、本学の講座を受講してみませんか。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

講座日程

平成29年

9月22日～10月20日

（毎週金曜日・全5回）

時間

18時30分～20時

（受付：18時～）

会場

宮崎公立大学 103大講義室

※1回のみの受講も可能です。

**受講料
無 料**

事前のお申込みが必要です。
申込方法については、
裏面をご覧ください。

回・日 程	講 座 テーマ	担 当 講 師
第1回 9月22日	地元への愛着を育てる ～社会心理学からのアプローチ～	宮崎公立大学 川瀬 隆千 教授
第2回 9月29日	“自分ごと”として考えるデザイン ～ひろがりと可能性～	宮崎公立大学 井田 志乃 助教
第3回 10月6日	人に優しいコミュニケーション ～「ケアの倫理」が私たちをつなぐ～	宮崎公立大学 四方 由美 教授
第4回 10月13日	人との関わりの中で生まれる知性 ～学習論再考～	宮崎公立大学 野崎 秀正 准教授
第5回 10月20日	誰もが発信者になれる！ 地域と共に創るローカルメディア	サンワード・ラボ株式会社 代表取締役/ 宮崎でてげ通信 会長 長友 まさ美 氏

※講座テーマ・内容は一部変更になる可能性がございます。

定期公開講座チラシ (2)

宮崎公立大学 平成29年度 定期公開講座

コミュニケーションの新しい力タチ ～地元・きずな・協働～

■第5回講師：長友 まさ美氏
(サンワード・ラボ株式会社 代表取締役/宮崎てげてげ通信 会長)

■講演テーマ：誰もが発信者になれる！地域と共に創るローカルメディア

「経営者もスタッフも幸せにはたらく会社づくり」をテーマに、企業研修、チームビルディング、エグゼクティブコーチングを実施。宮崎を拠点に日本全国で、強いチームづくりをとおして、社会問題の解決を行う。
人材育成、組織開発の手法を地域づくりにも活かし、キーパーソン育成、新商品開発WS、まちづくりWSなどを行う。

自身もプロジェクトチームの立ち上げ、推進を多数行う中の一つが、宮崎の魅力を世界に発信するローカルWEBメディア「宮崎てげてげ通信」(テゲツー！)
人と人を繋げ、宮崎を豊かにすることを願い、全国で宮崎の魅力を伝える。
月間50万PV。現在、日本で一番注目されているローカルメディアとして、
Yahoo!ニュースにも取り上げられる。ジャーナリズム・イノベーション・アワード2016優秀賞受賞、ウェイクアップアワード2017大賞受賞。



申込方法（講座期間中も受け付けいたします。1回のみの受講も可能です。）

FAX、ハガキ、またはEメールで、①氏名（ふりがな）、②年齢、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥受講希望日をご記入の上、宮崎公立大学地域研究センター宛、お申し込みください。お申し込み受付後、受講案内通知のハガキをお送りします。

平成29年度 宮崎公立大学定期公開講座申込書

(ふりがな) 氏 名		年 齡	歳	
		性 別	男	・ 女
住 所	〒	—		
電話番号	※連絡が取れる電話番号をご記入ください。 — — —			
受講希望日	※参加希望日の□にチェックしてください。1回のみの受講も可能です。 <input type="checkbox"/> 9月22日(金) <input type="checkbox"/> 9月29日(金) <input type="checkbox"/> 10月6日(金) <input type="checkbox"/> 10月13日(金) <input type="checkbox"/> 10月20日(金)			
今後本学の行事等に関する案内をお送りしてもよろしいですか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (□にチェックしてください。)				

※この定期公開講座は、当日収録し、後日放送することもございますので、予めご了承ください。
※当日台風等による荒天の場合は、講座を中止する可能性もございます。その場合は本学のHP上でご案内します。

申込み・問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階
TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773
Email : mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp
受付時間 : 平日9時~17時

詳細はウェブサイトをチェック→ [宮崎公立大学](http://www.miyazaki-mu.ac.jp/) 検索
<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

